

教員の資質能力向上に係る特配（CT 特配）活用推進事業報告書

千代田町立東小学校

1 ねらい

- ・職員一人一人が日頃抱えている悩みや不安を解消できる場や気軽に相談できる雰囲気をつくるためのつなぎ役となる。
- ・キャリア段階Ⅰ相当の教員が、段階Ⅱ（中堅）や段階Ⅲ（ベテラン）の教員から、学校教育の専門的知識や技術を教わり、生徒指導力、学習指導力、状況対応力向上を図る。CT はそのための研修計画及び実施のファシリテーターとなる。

2 内容と方法

- ・児童の心身の安全を確保する研修を優先的に計画し、そのほか、前年度のアンケートにより多くの職員が必要感をもっている内容を研修した。
- ・職員会議後や校内研修全体会内、研修推進委員会の裏側で並行して1コマ15分程度行った。

3 研修の実施（丸番号は年間計画参照）

（1）学校事務処理ソフトの入力方法

本校は、学校事務処理ソフト導入2年目ということもあり、必要に応じて、若手教員を中心に事務処理関係の研修を行った。連絡掲示板の書き込み方などの基本的な操作から、指導要録、出席簿等の作成など、不安や疑問に思っていることを一問一答形式にした。ここでは、日常会話の延長のような気軽な形で研修を行うことを目指した。



（2）⑥学校における不審者への緊急対応訓練

5月の不審者対応避難訓練の前に、スクールサポーターを講師に立てて、放課後に対応訓練を行った。

相手を説得する方法や、さすまたの使い方、さすまたがない場合の対応の仕方を学んだ。また、緊急時に適切に対応するための役割分担と初動等も確認することができた。



（3）②②プログラミング教育の理解と方法

来年度からのプログラミング教育の導入にともない、情報教育主任を講師に立てて、プログラミングソフト（Scratch）を用いた模擬授業を行った。

実際に操作を体験したことにより、プログラミング教育による効果や利便性、導入についての課題などがよく見えた研修となった。



(4) 年間計画 (㊦は全体研修、㊧は希望者研修)

月	資質向上研修・他
4	①タブレット端末活用研修(情報教育主任)㊧ ②準備運動千代田ドリル研修(体育主任) ㊧
	③食物アレルギー疾患対応訓練(養護教諭)㊦
	④特別支援教育研修(特別支援 CO、研修主任) ㊦
5	⑤心肺蘇生法、AED 研修(学校保健委員会) ㊦
	⑥学校における不審者への緊急対応訓練(安全主任、スクールサポーター) ㊦
	⑦C&S をもとにした学級経営について(教育相談担当) 上学年
6	⑧道徳授業構想シート、ハートメーターの活用について(町研授業研究班担当) ㊦
	⑨EAT による外国語活動公開授業 4 年 ㊧
7	⑩通知表・所見作成について(校長) ㊧
	⑪小学校英語研修伝達(英語主任) ㊦
	⑫図書館情報教育研修(○図書館主任・情報教育主任) ㊦
8	⑬全国学力学習状況調査問題演習・分析(学年ブロック) ㊦
9	⑭道徳科指導案作成のポイント(研修主任) ㊧
	⑮体育実技講習(陸上運動)(体育主任) ㊧
10	⑯県教委・町教委の分析を含めた東小における算数の授業改善について(学力向上 CO) ㊦
	⑰生活科・総合学習発表会の授業づくり・ソフト演習(PC 室)、年計朱書き㊧
11	⑱群馬県教育研究所秋季研修会の発表を終えて (町研授業研究班担当) ㊦
12	⑲東小における毛筆授業の進め方(書写主任) ㊧
2	⑳来年度の教育課程改善計画、来年度への年度末事務処理・事務(学年、校務分掌、学年)引き継ぎについて(教頭・教務主任) ㊦
	㉑新教科「外国語」の評価について(英語主任) ㊦
	㉒プログラミング教育の理解と方法(情報教育主任) ㊦
3	㉓標準学力検査(CRT)の分析と活用 ㊦
適宜	・学校事務処理ソフトの入力方法

4 成果と課題

- 気軽に相談できる雰囲気をつくることにより、教科指導や生徒指導の悩み、疑問などの意見交換を適切に行うことができた。
- 業務の効率化を考え、1 コマの時間を15分程度にしたり、内容によっては他の研修や会議に付随したりすることで、職員一人一人が本研修に対して前向きに参加することができた。
- 職員一人一人が、より必要感を感じる研修にするためには、必要に応じてアンケートを取ったり、聞き取りを行ったりして、研修内容の変更に、柔軟に対応する必要があった。
- 今後は、CT の特配がなくても、同等またはそれ以上の研修を行うことが望ましいため、校内研修主任と共同して次年度以降への引継ぎをする必要がある。